

平成 30 年度

受講者募集のお知らせ

特別支援教育支援員養成講座

NPO法人全国LD親の会では、発達障害等の障害のある児童・生徒への支援の充実、特別支援教育の推進、保護者のエンパワメント、障害のある幼児児童生徒に対する社会一体となった支援の充実に資することを目的とした事業の一環として、特別支援教育支援員の養成講座を開催しています。講師陣は、日本LD学会、特別支援教育士資格認定協会のご協力を得て、特別支援教育士SVの有資格者等を中心としています。特別支援教育支援員、学習支援員、介助員だけでなく、学童保育・放課後等デイサービスなどで発達障害児の支援を行っている方等に必要な知識や技能を織り込んだ最適のカリキュラムです。多くのご参加をお待ちしております。

講座の種類・日程

1. 支援員コース [講習：6日間(20科目/28.5時間)]

特別支援教育支援員として、学校長や担任教諭等の指示の下で、発達障害等の障害のある幼児児童生徒に対する介助、保護者等に対する相談支援が行える者の養成

第1日目：8月25日(土) 第2日目：8月26日(日) 第3日目：9月8日(土)
第4日目：9月15日(土) 第5日目：10月20日(土) 第6日目：10月21日(日)

2. 学習支援員コース [講習：8日間(26科目/39.5時間)]

特別支援教育支援員として、学校長や担任教諭等の指示の下で、発達障害等の障害のある幼児児童生徒に対する学習支援、介助、保護者等に対する相談支援が行える者の養成

第1日目：8月25日(土) 第2日目：8月26日(日) 第3日目：9月8日(土)
第4日目：9月15日(土) 第5日目：9月17日(月・祝) 第6日目：10月14日(日)
第7日目：10月20日(土) 第8日目：10月21日(日)

プログラム

8月25日(土) (支援員コース・学習支援員コース共通) 会場：ドーンセンター5階 特別会議室

10:20~10:30 オリエンテーション

10:30~12:30 特別支援教育概論

竹田 契一 氏

大阪教育大学名誉教授、特別支援教育士資格認定協会理事長、特別支援教育士SV

13:20~14:20 特別支援教育支援員の業務

大谷 和夫 氏

14:30~15:30 特別支援教育支援員としての倫理・心構え

子育てサポート IdeCAT 代表、特別支援教育士SV

8月26日(日) (支援員コース・学習支援員コース共通) 会場：ドーンセンター5階 特別会議室

9:30~11:00 主な障害の特性と理解(1)
(知的、身体、視覚、聴覚)

花熊 暁 氏

関西国際大学教育学部教育福祉学科教授、特別支援教育士SV

11:10~12:40 主な障害の特性と理解(2)
(LD、ADHD、自閉症、高機能広汎性発達障害)

13:30~15:00 子どもへの対応の基本

筈廣 みさき 氏

(一社)発達支援ルームまなび理事、特別支援教育士SV

15:10~16:40 障害のある子どもの心理

9月8日(土) (支援員コース・学習支援員コース共通) 会場: エル・おおさか 709号室

9:00~10:30 学校・学級での支援の仕方
担任との連携の仕方

小田 浩伸 氏
大阪大谷大学教育学部教授、特別支援教育士 SV

10:30~12:00 子どもの特性と対応方法(5)
介護・介助の基礎、移動介助

9月15日(土) (支援員コース・学習支援員コース共通) 会場: ドーンセンター5階 特別会議室

9:30~11:00 子どもの特性と対応方法(7)
視覚障害

松下 幹夫 氏
元大阪府立大阪南視覚支援学校指導教諭・
歩行訓練士

11:10~12:40 子どもの特性と対応方法(6)
聴覚障害

森田 雅子 氏
大阪市教育委員会指導部インクルーシブ教育推進
担当アドバイザー言語聴覚士、特別支援教育士 SV

13:30~15:00ペアレント・トレーニングの
視点(1)

米田 和子 氏
NPO 法人ラヴィータ研究所理事長、
特別支援教育士 SV

15:10~16:40ペアレント・トレーニングの
視点(2)

9月17日(月・祝) (学習支援員コースのみ) 会場: ドーンセンター4階 大会議室1

9:30~11:00 学習面の困難とサポート方法(1)
読み書きの困難とサポート方法

村井 敏宏 氏
学校法人青丹学園、特別支援教育士 SV

11:10~12:40 学習面の困難とサポート方法(2)
言葉(聞く、話す)の困難とサポート方法

13:30~15:30 学習面の困難とサポート方法(4)
教材・教具の利用方法

山田 充 氏
広島県廿日市市教育委員会特別支援教育アドバイ
ザー、特別支援教育士 SV

15:40~16:10 ワーク

10月14日(日) (学習支援員コースのみ) 会場: ドーンセンター4階 大会議室1

9:30~11:30 学習面の困難とサポート方法(3)
算数の困難とサポート方法

栗本 奈緒子 氏
大阪医科大学LDセンター言語聴覚士、
特別支援教育士 SV

11:40~12:10 ワーク

13:00~13:30 子ども達に接するときの
ポイント

西岡 有香 氏
大阪医科大学LDセンター言語聴覚士、
特別支援教育士 SV

13:40~16:10 ロールプレイング、グループ討議

10月20日(土) (支援員コース・学習支援員コース共通) 会場: ドーンセンター5階 特別会議室

9:30~11:00 特別支援教育コーディネーター
からのレクチャー

今村 佐智子 氏
(一社)発達支援ルームまなび理事、桃山学院教育
大学学生支援センター カウンセラー、
特別支援教育士 SV

11:10~12:10 現役支援員からのレクチャー
ワーク

13:00~14:30 子どもの特性と対応方法(1)
自立生活面の困難とサポート方法

松久 眞実 氏
桃山学院教育大学教育学部教授、
特別支援教育士 SV

14:40~16:10 子どもの特性と対応方法(2)
学校生活面での困難とサポート方法

10月21日(日) (支援員コース・学習支援員コース共通) 会場: ドーンセンター5階 特別会議室

9:30~11:00 子どもの特性と対応方法(3)
社会性・コミュニケーション・行動面の困難とサポート方

伊丹 昌一 氏
梅花女子大学心理こども学部心理学科教授、
特別支援教育士 SV

11:10~12:40 子どもの特性と対応方法(4)
行動面の困難とサポート方法
ロールプレイング、グループ討議

13:30~14:30 保護者への対応

井上 育世
NPO 法人全国 LD 親の会理事長

14:30~14:45 修了式

対象者

1. 特別支援教育支援員、介助員等を目指す方
学童保育・放課後等デイサービスなどで発達障害児の支援を行っている方に必要なカリキュラムを網羅しています。
学習支援員コースの受講希望者は、教員免許を所持している方、あるいは児童生徒への学習指導経験のある方。
2. 全日程を出席できる方

受講申込方法

受講申込方法

- 受講申込用紙に必要な事項を記載し、下記宛にメール(ファイル添付)またはFAXでお申し込みください。
- 受講申込用紙は、全国LD親の会ホームページからダウンロードしてください。(http://www.jpald.net/)ダウンロードできない場合は郵送しますので、メールごと、連絡ください。(jimukyoku@jpald.net)

申し込み先(受講申込用紙を添付)

メール ldkouza@osaka.zaq.jp

FAX 03-6276-8985

会場

大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)

大阪市中央区大手前1丁目3番49号 TEL.06-6910-8500

交通:京阪「天満橋」駅下車。東口方面の改札から地下通路を歩いて1番出口より東へ約350m。

地下鉄谷町線「天満橋」駅下車。1番出口より東へ約350m。

JR東西線「大阪城北詰」駅下車。2番出口より土佐堀通り沿いに西へ約550m。

エル・おおさか(大阪府立労働センター)

大阪市中央区北浜東3-14 TEL 06-6942-0001

交通:京阪・地下鉄谷町線「天満橋駅」より西へ300m

地下鉄御堂筋線「淀屋橋駅」より東へ1,200m

京阪・地下鉄堺筋線「北浜駅」より東へ500m

JR東西線「大阪天満宮駅」より南へ850m

本件に関する問い合わせ先

NPO法人 全国LD親の会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-26-5 パロール代々木415

電話/FAX : 03-6276-8985(火曜日のみ)

E-mail : jimukyoku@jpald.net

HP: http://www.jpald.net/

募集期間 募集人員 受講費 修了証

1. 募集期間

- 平成30年6月5日(火)~平成30年7月9日(月)
- 申込者多数の場合は、書類選考により受講者を決定させていただきます。
- 受講の可否につきましては、7月14日(土)までに申込書記載のメールかFAX番号にお知らせいたします。

2. 募集人員および受講費

- 募集人員:90名(うち学習支援員コース=50名程度)
- 支援員コース:講習費13,000円
テキスト代1,000円 合計14,000円
- 学習支援員コース:講習費18,000円
テキスト代1,500円 合計19,500円
- 昨年度の支援員養成講座を全日程修了できなかった方は、欠席された講義を1科目800円で受講可能です。
- 受講費・テキスト代は講座第1日目にお支払いください。

3. 修了証の交付

- 全講習を受講した方に、修了証を交付します。

その他(留意事項)

- (1)本講習のカリキュラムは主催者の都合等により変更する場合があります。
- (2)本講習は、特別支援教育支援員としての採用に直接結びつくものではありません。